

2024年6月26日

各位

会社名 株式会社 アサヒペン
代表者名 代表取締役社長 澤田 耕吾
(コード:4623、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部担当 石尾 維英
(TEL. 06-6930-5018)

第78期有価証券報告書の提出期限の延長申請の検討に関するお知らせ

当社は、2024年7月1日が法定提出期限である第78期（2024年3月期）有価証券報告書につきまして、提出期限の延長を検討しておりますことをごお知らせいたします。

1. 有価証券報告書提出期限の延長申請の検討

2024年5月29日付「当社連結子会社の元従業員による不正行為に関するお知らせ」及び2024年6月5日付「第78期定時株主総会の継続会の開催方針に関するお知らせ」に記載のとおり、当社連結子会社である株式会社アサヒロジストにおいて、同社の元従業員による業務上横領が発覚いたしました。

当社はこの不正行為が発覚した直後、社内調査委員会を組織し、私的流用金額特定のため全銀行データと会計帳簿を突合することにより資金移動の推移等に関する調査を実施し、内容が確認でき次第、決算短信の連結財務諸表の訂正を公表する予定でありました。しかしながら、調査の過程で当該元従業員による同社の勘定科目の改ざん等隠ぺい工作が確認されたため、重要な虚偽記載の疑義が生じました。

当該子会社は、本不正行為発覚までは、監査上の重要な子会社に該当してはおりませんでした。本不正行為発覚により、監査法人より追加監査手続きの実施を言及され、追加監査手続きの影響を監査法人と相談しました結果、当該子会社の経理関係業務を当該元従業員が一人で行っており、その上長も含めて経理業務を把握している職員がいないこと、また、会計監査の過程で本不正行為が発覚したこと、事実関係の把握に時間を要しており、私的流用の資金移動及びその隠蔽のための会計帳簿の改ざんが多数回、かつ多岐にわたる勘定科目を用いて複雑に行われているため虚偽の仕訳の特定が容易ではないこと、連結財務諸表等に対する影響が重要であり、当該損失額の確定、注記事項、内部統制報告書の記載方法等に相当な時間を要し、それに伴う監査時間も相当程度かかる見込みであります。そのため、第78期有価証券報告書の法定提出期限である2024年7月1日までに監査報告書を受領することができないと判断し、2024年3月期有価証券報告書の提出期限について延長申請を検討することといたしました。

2. 今後の見通し

第78期有価証券報告書については、2024年7月1日が法定提出期限となっておりますが、関係各所との確認が取れ次第、方向性が定まった段階で速やかにお知らせいたします。

株主・投資家の皆様をはじめ、関係各所の皆様には多大なるご迷惑とご心配をお掛けいたしますこと心よりお詫び申し上げます。

以上